

**製品名: PIAS1+PIAS2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83949**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 72,68 kDa ; Observed MW: 76 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PIAS1+PIAS2
別名	PIAS1; PIAS2;;PIAS1/2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O75925/O75928
免疫原	ヒト PIAS1 由来の合成ペプチド

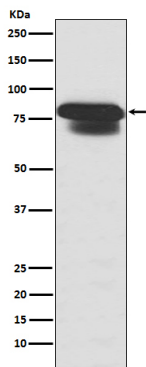
**背景**

E3型 SUMO (small ubiquitin-like modifier) リガーゼとして機能し、UBE2I と基質との相互作用を安定化させるとともに、SUMO 結合因子としても機能します。STAT 経路、p53 経路、ステロイドホルモンシグナル伝達経路など、様々な細胞経路における転写共制御において重要な役割を果たします。

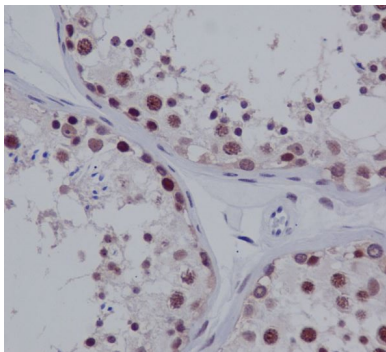
## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 細胞溶解物中の PIAS1 + PIAS2 + PIAS3 発現のウェスタン ブロット解析。



PIAS1+PIAS2+PIAS3 抗体を使用した、パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。